

2021 年度 小委員会活動成果報告

(2022 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	文化遺産災害対策小委員会	主 査 名：後藤 治 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会	委員長名：山崎 鯛介
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>歴史的建造物や歴史的町並に関する災害対策（事前・事後）や、災害が歴史的建造物・町並に及ぼす影響や被害について情報収集を行い共有化し、その研究を進め、今後の対応や対策に役立てることを目的とする。</p> <p>初年度：近年の災害による歴史的建造物・町並の被害とその対応の調査・研究／九州地方・中国地方の水害、首里城の火災他</p> <p>2 年度：近年の災害による歴史的建造物・町並の被害とその対応の調査・研究／海外における歴史的建造物・町並の災害による被害とその対策他</p> <p>3 年度：関係各機関の対応についての調査・研究／文化財防災センターの設置、国宝・重要文化財等の防火対策ガイドラインと関連する指針類</p> <p>4 年度：研究期間内に発生した被害とその対応の調査・研究</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	<p>主査：後藤 治 (工学院大学)</p> <p>幹事：大橋竜太 (東京家政学院大学)、</p> <p>委員：鯉坂徹 (鹿児島大学)、足立裕司 (神戸大学)、上野勝久 (東京藝術大学)、梅津章子 (文化庁)、大窪健之 (立命館大学)、永井康雄 (山形大学)、村上裕道 (京都橘大学)、防火：長谷見雄二 (早稲田大学)、安井昇 (桜設計集団)、耐震：藤田香織 (東京大学)、花里利一 (三重大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2021 年度予算	180,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認 企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. コロナ禍の影響で現地調査ができず、主要な活動が年度末近くまで及んだため、委員会は開催できていないが、委員が国等の関係機関の委員会に参加し、初年度、3 年度の活動計画にあげた事柄について、一定の成果を得ている。成果を報告するために、早期に委員会を開催したいと考えている。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 文化庁による文化財建造物防火対策ガイドライン改訂 (2021 年 12 月) に委員として協力：後藤主査・長谷見委員 (3 年度計画)</p> <p>2. 文化財防災センターと日本建築学会の協定締結：後藤主査・大橋幹事 (予定、2022 年 3 月) (3 年度計画)</p> <p>3. 首里城関連の委員会への参加 (国：長谷見委員、沖縄県：後藤主査・長谷見委員) (初年度計画)</p>
委員会活動の問題点・課題	<p>1. 主査・委員が関わる主要な活動が、年末、年度末まで及んだため、委員会の開催が遅れている。早期にオンラインで委員会を開催したい。</p> <p>2. コロナ禍で、現地調査が困難になっている。</p>